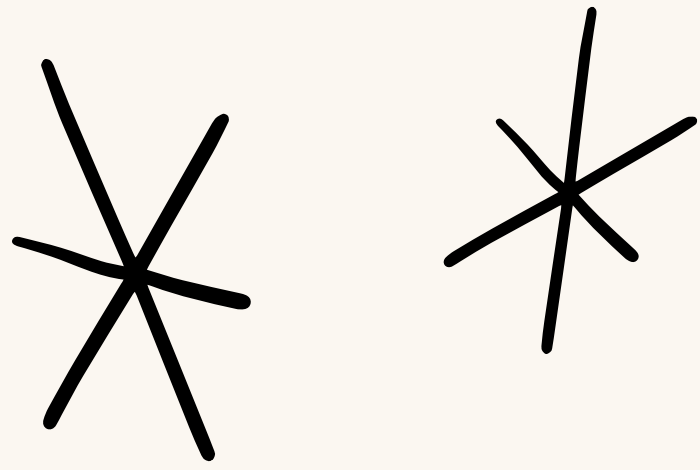


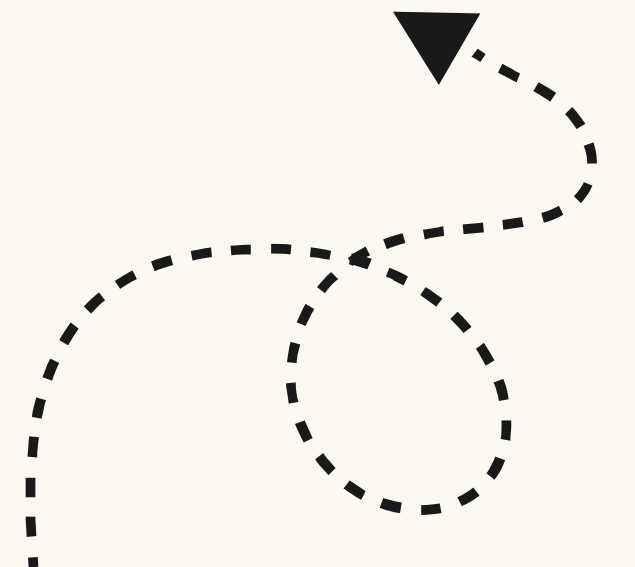
フィジオセラピー
(PHYSIOTHERAPY: PT)

アスレチックセラピー
(ATHLETIC THERAPY: AT)



前田仁（まえだひとし）

カナダには、筋骨格系の治療法としてフィジオセラピー（Physiotherapy: PT）やアスレチックセラピー（Athletic Therapy: AT）があります。しかし、それぞれの違いについてよく分からない方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、ジャムズネットカナダの会員であり、カナダのアスレチックセラピストの資格を持つ前田仁（まえだひとし）さんに、PTとATの違いなどについて解説していただきました。



1

ATとPTの主な違いはなんですか？

まず資格教育という面ではPTが学士＋修士の計6年かかるのに対して、ATは主に学士の4年制プログラムです。

扱う疾患の領域としては、PTは幅広く、筋骨格系のみならず神経系や循環器系等にも対応するのに対し、ATは筋骨格系のみを学び、治療するという違いがあります。もう一つの大きなATの特徴としては、スポーツ現場での救急対応やテーピングなどのサポートといった、日本でいう「スポーツトレーナー」としての専門性が挙げられます。よくテレビで見るプロスポーツの試合で、選手がケガをした際にベンチから駆けつける人ですね。アメリカでは「アスレチックトレーナー」と呼ばれており、もしかするとそちらの名称を聞いたことがある方もいらっしゃるかもしれません。

2

日本では理学療法士（PT）から治療を受ける場合、整形外科など医師の診察が必須ですが、カナダでも家庭医の紹介状（リファーマル）が必要ですか？

カナダでは、PT・ATから治療を受ける場合、医師の紹介状は必要ありません。ご自身で友人の紹介やオンライン検索を通じて、PT・ATのいるクリニックを見つけ、電話やオンラインで予約をすることができます。

3

PT・ATの予約はすぐにとれますか？

セラピストのスケジュールによりますが、実力があり経験豊富なセラピストはすでに多くの常連患者さんを抱えているため、予約が取れるのは2-3週間先になることが多いです。現在では、保険会社が運営する口コミサイトなどもあり、それらを参考にされる方も多いです。

PTと比べて、ATは一般の方の知名度と保険の関係から、予約がすぐに埋まることは少ない傾向にあります。そのため、1週間以内に予約が取れることがほとんどだと思います。特に、私の住むオタワでは、比較的早く予約が取れると思います。

4 スポーツ選手ではありませんが、ATに治療してもらうことはできますか？

もちろんです！ ATはアスリート限定のサービスでなく、全ての方が対象です。現在、AT業界がプロモーションで取り組んでいるのは、「ATがアスリート限定のもの」という既存のイメージの払拭です。ATは身近に起こる些細なケガ、例えば雪かき後の腰や肩の痛みなどにも大きな助けになると思います。

5 ATの流れを教えてください。

まずは、事前に記入してもらった情報をもとに問診、そして、関節可動域を含めた様々な整形外科的評価や触診等を行い、患者さんに説明をします。その後、様々な手技やテクニックを使って症状の緩和や各関節や筋肉の機能向上を目指し、最後に自宅で行っていただくエクササイズ指導をします。ATは一般的に手技を重視する傾向があるため、そこに多くの時間を割くことが多いです。

6 ATに保険は使えますか？

これは各保険会社やその保険プランによって大きく異なります。ご自身の保険でATがカバーされる場合でも、それを知らない方が多くいらっしゃいますので、ぜひ確認してみてください。

7 マッサージセラピスト (RMT) の資格もお持ちとのことですが、ATと治療・施術の違いを教えてください

RMTには、私個人としては2つの役割があると考えています。1つはリラクゼーションを目的とした施術、もう一つは身体の不調を改善したいという希望に応える施術です。

リラクゼーションをリクエストされる場合は、とにかくゆっくりとリラックスしてもらいながら、最適な圧のかけ方を見つけていきます。一方で、身体の不調を抱えている場合は、私のATとしてのバックグラウンドを活用して、ATの治療とほぼ同じような手技、治療を行います。さらに、必要に応じて自宅で行えるエクササイズ指導も軽く行います。RMTの施術スタイルや対象とする患者さんのタイプには個人差が大きいため、事前にプロフィール等で確認されることをおすすめします。

⑧ 最後にメッセージをお願いします。

アスレチックセラピストはスポーツによるケガだけでなく、肩こりや腰痛などの治療のほか、自宅でできる再発防止のためのエクササイズなどをご紹介します。体の不調があれば、一度気軽に相談してみてください。

